

助成事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人

災害救援レスキューアシスト

代表者・役職名 氏名 中島武志

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

「市民・学生向けの YouTube を利用した防災・減災動画」

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

代表の中島は東日本大震災以降、ボランティア活動を各被災地で行って来ました。その中でも特に災害弱者と呼ばれる要配慮者が取り残されることに気付き、任意団体を立ち上げたのが 2016 年です。直後に発災した熊本地震以降、大阪北部地震や千葉県の台風 15・19 号災害など、長期に渡る救援活動を被災者に寄り添いながら続けて来ました。2019 年 7 月に NPO 法人化しました。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

大阪北部地震や台風 21 号の関西直撃により、関西に住む方々にも防災や減災に対する意識が変わってきたように感じます。ただ、どのように取り組めばよいのかまだまだ分からない方が大勢いらっしゃいます。レスキューアシストでは様々な講演会や講習会・勉強会を行うためのノウハウを持っています。予算の少ない小さな自治会や学生に向けての講習会など、助成金を利用して開催することにより草の根レベルでの防災・減災の普及に努めていきたいと考えます。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

講習会や勉強会を企画する段階で、2019 年は大きな災害が起こりました。千葉県南部を襲った台風 15 号に加え、各地で大きな被害をもたらした台風 19 号です。当団体は千葉に向かい長期的な支援活動を展開することとなり、長期間関西を離れることとなってしまいました。そしてコロナ禍の中、当初の予定であった関西での講習会や勉強会を断念せざるを得なくなり、YouTube での動画配信による防災活動に切り替えることになりました。しかしこちらも 2020 年 7 月熊本豪雨災害の発生による救援活動に赴いたことから、中途半端な形で終わってしまいました。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

プロジェクトにより、今まで経験してこなかった配信という形の伝え方の、手軽さと難しさを知ることができました。当初は毎週発信することを目標にしていたのですが、結果 7 回しか配信できなかったのは残念です。題材はたくさんあるものの準備不足による稚拙さが出てしまったのではないかと考えます。ただ、今まで講習会に足を運ぶ手段のなかった方や遠方の方などに向けた取り組みができるのではないかと考えています。YouTube は削除しない限り残り、伝え続けることができます。防災や減災を伝える手段として、また活用していきたいと思っています。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

実施に当たり、もう少し内容を精査し準備に時間をかけた方が良かったと思います。見ていただくのにちょうどよい長さとして10分程度を目安に撮影をしていました。この10分にどれだけの内容を伝えるのか、次にどのように繋いでいくのかをもう少し練った方が良かったと思います。コロナ禍の影響でzoomでの講習会が各地で行われるようになりました。つまり、講習会会場に行かなくても防災や減災の情報を得ることができることとなります。今後は配信という形をうまく取り入れながら、伝えていく活動を行っていく必要があると思います。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特になし

YouTube チャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCJNpRPSkqgPvM44ai_2Wa4A

